

# 「大阪のまちづくりグランドデザイン（案）」に対する府民意見等と大阪府・大阪市・堺市の考え方について

【募集期間】令和4年11月9日（水曜日）から令和4年12月9日（金曜日）まで

【募集方法】「大阪府パブリックコメント手続実施要綱」に基づき、電子申請、郵送、ファクシミリのいずれかによりご意見等を提出いただく方法で募集しました。

【意見件数】18者（団体を含む）から77件（うち意見の公表を望まないもの30件）のご意見をいただきました。

寄せられたご意見等の概要、ご意見等に対する大阪府・大阪市・堺市の考え方は以下のとおりです。お寄せいただいたご意見は、趣旨を損なわない範囲で一部要約している部分があります。

No	ご意見等の趣旨・内容	大阪府・大阪市・堺市の考え方
<b>策定にあたっての主旨</b>		
1	<p>「副首都・大阪の実現」が掲げられているが、単に東京の代替ではなく、地域や府民の特性を生かした独自のまちづくりを推進するため、「副首都」をめざすのであれば、その定義を具体的に明記されたい。</p>	<p>大阪のまちづくりのグランドデザインは、東西二極の一極を担う「副首都」として、さらに成長・発展していくため、大阪都市圏全体を視野に2050年を目標として、大阪のめざすべき都市像やまちづくりの方向性、その推進の取組等を示すものです。</p> <p>なお、大阪がめざすべき副首都の「基本的な考え方」については、平成29年に策定した「副首都ビジョン」において整理しております。当該ビジョンにおいては、副首都・大阪が果たすべき役割について「西日本の首都」「首都機能のバックアップ」「アジアの主要都市」「（民の力を活かす）民都」の4つと定め、これらの役割を果たすことを通じて、「東西二極の一極」として「日本の成長エンジン」となることをめざすこととしています。</p> <p>現在、「副首都ビジョン」はバージョンアップに向けて検討を進めているところです。</p>
<b>大阪都市圏からみた特徴・役割</b>		
2	<p>全般に既存のプロジェクト等をコンパクトにまとめられています。これらの取り組みを計画的に着実に推進する事で、大阪は良くなることは間違いないと思います。</p> <p>しかしながら、掲げられている「副首都・大阪の実現」や「世界をリードするイノベーションの拠点」をめざすには、戦略などの内容が弱いのではないのでしょうか？</p> <p>その原因は、本稿の大阪都市圏の特徴の分析が不足しているからではないのでしょうか？</p> <p>3ページの「世界のゲートウェイ・・・」の図が全体の中で最も広範囲の図になっていますが、もっと視点を広げるべきだったと思います。</p> <p>できれば東アジア圏域の諸都市を視野に入れたSWOT分析、せめて名古屋や福岡など日本の主要都市を含めたSWOT分析をしないと客観的な大阪都市圏の特徴を把握できず、肝心の戦略などの内容が既存プロジェクトの再整理的になってしまっているのでは？と思います。</p> <p>繰り返しになりますが、大阪を良くしていくという観点からは、よくまとめられていると思いますが、これらの取り組みで「副首都」や「世界をリードする・・・」を実現させるには、このグランドデザインをきっかけにして、別途述べる通り成長戦略局など、ソフト施策との連携が必要だと思えます。本稿の冒頭の特徴・役割についても、ソフト面での分析があいかわらず本社機能の流出と工場の立地状況だけでは、今後必要となるソフト施策と連携した取り組みに不安をいただきます。今後の取り組み強化を期待します。</p>	<p>グランドデザインは、2050年を目標として、大阪のめざすべき都市像やまちづくりの方向性、その推進の取組等を示したものであり、策定にあたっては、考慮すべき事項として、大阪・関西万博の開催やテクノロジーの進展といった社会情勢の変化や新たな潮流について、検討項目の現状等として、国際競争力を備えた広域経済交流圏の形成等について、分析・議論したうえで、検討を行ってきたところです。</p> <p>今後、その推進に向け、いただいたご意見も参考に、まちづくりの取組を進めてまいります。</p>

No	ご意見等の趣旨・内容	大阪府・大阪市・堺市の考え方
めざすべき都市像		
3	<p>私立学校まで授業料無償の影響で、公立高校が定員割れし、廃校に追い込んでおいて大学を減らさないのは、バランスが悪いので、大学を今の半分に減らして欲しいのと、私立学校の授業料を無料にするよりはカーボンニュートラル推進や太陽光パネルの賦課金等で、電気代が高くなり困っている工場や中小企業を助ける方が大事です。</p> <p>大阪市庁舎の電気を再生可能エネルギーにして、嬉しそうにドヤ顔で報道発表していましたが市民を苦しめている事を分かっていない行政に失望しています。</p> <p>末端の生活者、地域レベルの住民の事を考えた政策ではないと思います。</p> <p>各区は市の顔色を見た政策をしますし、市と住民の間に区が入る事で住民の声が市に届かない事を知って下さい。</p> <p>議会も首長と同じ維新の議員が多すぎるので、行政の監視、批判機能が事実上機能していません。裸の王様政策は、大阪を壊すと思っています。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、ランドデザインとの直接的な関連性がないため回答を差し控えさせていただきます。</p>
4	<p>大阪府下55大学の存続を諦めて下さい。大阪の進学率が50%台なら、半分大学を減らして下さい。身の丈に合った内容で発展する大阪の案を出して下さい。お金を使って議論するに値するのはそういう自身の議論だと思います。</p> <p>大学に行かなくても、義務教育後に就職しても、十分生活できるだけの給料がだせるような、そんな大阪独自の発展の仕方を考えて下さい。</p>	
5	<p>カーボンニュートラルの補助金のために、処理方法が確定していない太陽光パネルとその賦課金が重くのしかかり、暮らしにくい大阪になっています。</p>	
6	<p>・関空・りんくう周辺エリア &lt;世界のゲートシティ・泉州南部の核&gt;</p> <p>○ 国際医療交流の推進</p> <p>・医療拠点としての機能強化</p> <p>・外国人向け医療サービスの向上・高度化</p> <p>・訪日外国人旅行者の受け入れ体制の充実</p> <p>外国人の医療費の踏み倒しのせいで、外国人も日本の国民健康保険に加入されたら今度は3割負担で診てもらい、健康保険料を踏み倒して帰国、などの話も聞きます。</p> <p>そんな事が絶対に起こらない体制をどうするのか示して下さい。</p>	

No	ご意見等の趣旨・内容	大阪府・大阪市・堺市の考え方
7	<p>・側道歩行者空間化からみどり豊かなフルモール化へ 要らないです。</p>	<p>御堂筋・周辺エリアにおいて、御堂筋を人中心のストリートへ空間再編することは、人・モノ・資金・企業・情報といった都市資源を呼び込み、交流を促進し、新たな魅力や価値を創出することから、必要な取組と考えています。</p>
8	<p>“大阪は、国内外から多様な人・モノ・情報が集積する圧倒的な都市魅力を備えた、新たな価値を創造し続ける都市として、世界中の人々から選択されるとともに、府内の様々な地域において、あらゆる人々が多様な働き方・暮らし方を選択できる都市をめざします。”</p> <p>あまり目立たないように書いてますが、他の政策と合わせてみると外国人留学生受け入れと、就職までの面倒を見るなど、移民政策を進めているようにしか見えません。</p> <p>移民を増やしての大阪の発展など全く望んでいません。</p> <p>本当にやめて欲しいです。</p>	<p>今後のまちづくりにおいては、都市間競争に打ち勝つ魅力あるまちづくりとともに、ポストコロナを見据え、大阪に住み・働き・訪れる人々のより多様化するニーズに対応したまちづくりを進める必要があることから、世界中の人々から選択されるとともに、府内の様々な地域において、あらゆる人々が多様な働き方・暮らし方を選択できる都市をめざすこととしています。</p> <p>いただいた内容につきましては、ご意見として承ります。</p>
9	<p>大阪ならではの、ってなんですか？ 外国人が増えて多文化共生を強制する大阪のそれが大阪ならではの、って言うなら迷惑なのでやめて欲しいです。</p>	<p>大阪は、豊かな自然環境、歴史・文化・景観資源などを身近に感じることができることに加え、大阪の都心部まで駅から30分以内程度の時間で移動することができる地域が多く、また、神戸・京都・奈良・和歌山など周辺都市へのアクセス利便性も非常に高いといった特徴があることから、「大阪ならではの」と表現しています。</p>
<b>まちづくりの戦略と取組みの方向性</b>		
10	<p>5つのまちづくりの戦略と取組みの方向性が示されているが、前章で示された「めざすべき都市像」との関連性・結びつきが見えづらい。この点をわかりやすく提示されたい。</p>	<p>めざすべき都市像において、3つの将来像を掲げており、それぞれが5つの戦略と取組みの方向性にまたがって関連するものです。</p>

No	ご意見等の趣旨・内容	大阪府・大阪市・堺市の考え方
11	<p>5つのまちづくりの戦略では、大阪の成長・発展をけん引する拠点エリアの形成やまちづくりを支える基盤が記載され、各拠点の位置づけや機能について方向性が示されている。ただ、各拠点間の連携や市町村を超えた課題解決への取り組みなど、広域で解決すべき課題への対応についてもランドデザインに盛り込むべき。</p> <p>大阪商工会議所が進める「グレートミナミ構想」はまさに地域の課題を広域連携で解決する取り組みであり、これまで「関西経済3団体との意見交換会」等でも意見を申し上げたが、盛り込まれていない。広域連携を解決する取り組みとして、「グレートミナミ構想」をランドデザインへ反映されたい。</p>	<p>広域で解決すべき課題への対応については、放射・環状の交通ネットワーク上を中心として、多様な都市機能を備えた特色ある拠点エリアや魅力ある生活圏を形成し、相互に連携する都市構造をめざすという考え方や、推進に向けた取組において、広域連携のまちづくりの推進といった視点を示しています。なお、戦略間の相互連携を推進するという観点を明確化するため、P28、P41、P45において一部追記しました。</p> <p>また、グレートミナミ構想については、本ランドデザインにおいてベイエリアなどにおける産業競争力の強化や自然にも都心にも近いという大阪ならではの魅力を活かした新しい郊外の創造、交通ネットワークの充実、鉄道沿線まちづくりなどの取組の方向性を示しており、考え方の方向性は概ね一致しているものと考えています。</p>
12	<p>各拠点などでの取り組みについても、現時点での計画を中心に盛り込まれているが、2050年に向けた計画であり、例えば公民連携の取り組みは現在進行中のみならず、将来の考えられる取り組みについても記載すべき。</p> <p>また、まちづくりだけでなく、まち育ての視点から維持管理やイベントなどの情報発信についても公民連携で進めていく方向性を打ち出されたい。</p>	<p>「めざすべき都市像」において、まちづくり推進の視点のひとつとして「共創」を掲げ、公民連携、広域連携、様々な分野の連携によるまちづくりを推進することを示しています。各拠点などでの取組については、現段階で把握している範囲で将来の取組も含めて示すとともに、2050年に向けたロードマップを示しております。</p> <p>また、「ランドデザインの推進に向けて」において、まちづくりを育てるための取組の推進として、エリア価値や地域魅力の向上を図るためのエリアマネジメントを推進することとしています。</p>
13	<p>39ページの図に限らず、視野が大阪府周辺に限定されていると思います。かなり昔になりますが、すばるプランとして関西全域の研究開発拠点の連携、ネットワーク化を目指した計画がありました。副首都や世界をリードするイノベーション拠点をめざすのであれば、まずは関西圏の各拠点とのネットワークを強化し、その上で産業等の中枢機能を強化する方向性をしめすことが必要ではないでしょうか？</p> <p>レポートとしては、関西広域を視野に入れた産業拠点、都市機能の拠点の図が戦略1の冒頭にあり、その後各拠点エリアを順次説明する方が各拠点エリアの広域的な位置づけが分かりやすいのではないのでしょうか？</p>	<p>ランドデザインは、大阪都市圏全体を視野に、2050年を目標として、大阪全体の大きなまちづくりの方向性を示すものです。</p> <p>大阪が、西日本国土軸及び太平洋新国土軸に位置し、西日本経済の中心の役割を果たしていることや、国土軸や環状軸、空港・港湾・新幹線等の広域交通インフラなど、広域的な都市構造を活かした都市圏の形成を図ることについては、「大阪都市圏からみた特徴・役割」や「めざすべき都市構造」において示しています。</p> <p>戦略1については、広域的な都市構造、府域の都市軸・ゾーニング、及び今後のまちづくりの動向等を踏まえた拠点性を発揮するエリアとして、まちづくりの観点から「世界で存在感を発揮する拠点エリア」及び「大阪の中核を担う拠点エリア」を、また、経済成長を促す観点から「産業拠点・集積エリア」を順に示しています。</p>

No	ご意見等の趣旨・内容	大阪府・大阪市・堺市の考え方
14	<p>10年前にある方から大阪府のランドデザインに堺筋を難波まで路面電車が通るとい計画が上がっていると教えていただいた。</p> <p>当時赤バスがなくなり難波までのアクセスがなくなりご年配の方はとても不便になったとおっしゃっていたのを聞いていたので、これは商売の観点からももちろんだけれど住んでいる方にもとてもいい計画だと思いました。</p> <p>昔、堺筋に市バスが走っていた時、祖母は毎日のように5丁目の停留所から3丁目まで二つの停留所だけでも乗降していました。同じルートで路面電車が走り難波へ行くのであればそれはこの街にとってとてもいいことであり、生活している人にも住みやすい街づくりを目指せるとも大きな目標でした。日本橋筋商店街さんが主導していた日本橋にトラムを通して賑わいを進める会さんが進めていた運動も非常に興味深く見させていただき、街が変わることも期待していました。</p> <p>ところが今回のランドデザインから堺筋を通す電車の計画が消えていました。</p> <p>これは日本橋地区を大阪府の都市計画から削除したことになります。日本橋は天王寺、新今宮とミナミを結ぶ重要な場所のはずです。ここを空洞にして大阪市の都市計画が動くとは思えません。</p> <p>もう一度ランドデザインの再考をご検討願いたいと思っております。</p>	<p>「なんば・天王寺・あべのエリア」では、来街者が居心地よく過ごし地域間を快適に回遊できるまちづくりを進めることを示しており、取組の方向性として、歩いて楽しい滞在空間の創出や、新たなモビリティなどの活用による回遊性の向上を図ることとしています。</p> <p>新たなモビリティとしては、LRTも含め、幅広くとらえる必要があると考えています。</p>
15	<p>私たちの会は、日本橋筋商店街振興組合とでんでんタウン協栄会の有志を中心に2014年に結成されました。2012年に策定されたランドデザイン・大阪に記載されている「なんば～あべの一体化」のため「緑陰の道を通るLRTでまちをつなぐ」いわゆる「なんば・天王寺・あべのLRT」という構想は、断じて消し去るべきではありません。「緑陰の道」とは「みどりあふれるひと中心の空間」と解されます。まさに今なんば駅前周辺ではランドデザイン・大阪に示されたとおり、自動車を抑制し歩いて楽しいひと中心の空間整備がスタートしたところです。『なかでもLRTは床が低くて誰にも乗りやすく、ひと中心の都心部となれば不可欠な移動手段のひとつとなる』と大阪府議会で答弁されたのは当時の松井一郎知事でした。（平成25年2月議会）ひとと環境にやさしくバリアフリーに乗り降りできるLRTは、ひと中心の空間にもっともマッチする移動手段です。この「ひと中心の空間」をなんば広場からなんさん通りへ、さらには日本橋筋（堺筋）の恵美須町まで延伸整備し、そこにLRTを通せば、このエリアを巡る歩行者の回遊性が飛躍的に向上し、なんば・日本橋・新世界・天王寺・あべのをまとめて楽しむことができるようになります。まさに「なんば～あべの一体化」です。このような素晴らしいプランをなぜ消し去るのでしょうか。府市当局は「地下鉄が下を走っているので採算性が疑問」「道路が混雑する」「阪神高速の高架下をくぐれない」「合意形成が課題」との見解で、できない理由ばかりを羅列している。「こうすればできる」となぜ言わないのでしょうか。振り返れば、10年前にランドデザイン・大阪という構想を知った私たちは、全国各地の路面電車を視察し、まちづくりワークショップを重ね、2018年には『日本橋まちづくり構想（たたき台）』を策定し、日本橋のまちを「来訪者・商売人・住民にとって居心地のよいひと中心の交流空間」とすることを提案しました。それから『日本橋をトラム（LRT）の似合うまちに！』を合言葉にまちづくりを進めてきました。それを今になって『やっぱりやりません』とハシゴを外すとは一体どういうことなのでしょう。</p> <p>私たちの商店街を直撃し、未だに先行きのみえないコロナ禍。その真っ只中で、トラム（LRT）の実現は私たちの夢、悲願です。どうか私たちの希望の灯を消さないでください。</p>	

No	ご意見等の趣旨・内容	大阪府・大阪市・堺市の考え方
16	<p>「大阪のまちづくりのグランドデザイン（案）P.22「なんば・天王寺・あべのエリア」への提言 平成25年松井知事が府議会でLRTの優位性を述べられた当時、私は、なんば・天王寺・あべのエリアにLRT路線を敷設する具体的な方策を、当時の天王寺区長に、ご提案申し上げました。 阪堺線と上町線というLRT資産がある当地域に、エネルギー効率が十倍優れるLRTを導入しないことは、SDGsの時代に、万博を開催する大阪が、全世界に対し、大恥をさらす事となります。 少なくとも、なんば・天王寺・あべのエリアにLRT計画を残していただき、線路の敷設までの期間は、当該エリアに、道路上もレール上も走行できる「軌陸両用バス」を走らせる事で、大阪そして日本の、先進性と、高い技術力をアピールして頂きたいものです。 私が、各方面に提案している「軌陸両用バス」（略称：「トラムバス」）は、鉄道工事用の各種自動車を軌陸両用車に改造している富田林の軌道会社で、ノンステップ路線バスを軌陸改造していただければ実現可能な、世界にない新しい乗り物です。（デュアルモードビークルとは全く違います）。 車いすが乗降容易で、難波駅前から堺市の仁徳天皇陵まで、乗換なしで旅客輸送が可能です。</p>	<p>「なんば・天王寺・あべのエリア」では、来街者が居心地よく過ごし地域間を快適に回遊できるまちづくりを進めることを示しており、取組の方向性として、歩いて楽しい滞在空間の創出や、新たなモビリティなどの活用による回遊性の向上を図ることとしています。 新たなモビリティとしては、LRTも含め、幅広くとらえる必要があると考えています。</p>
17	<p>P.22 なんば・天王寺・あべのエリア &lt;大阪ならではの魅力を発信する文化観光拠点&gt; 「なんば」と「天王寺・あべの」を1つ括ることに意味がありません。 「なんば」は繁華街として繁栄する地域です。 「天王寺・あべの」は商業地域と居住地が混在する地域です。 同じように位置にあるから一纏めとしているのだと思いますが、それぞれの地域に発展の方向性があります。</p> <p>「天王寺・あべの」地域は多数の公共交通が集まり移動に便利な場所です。 多数の商業施設と居住地域が共存しています。 大阪公立大学附属病院を初め医療機関も充実しています。 日本中で今後、少子高齢化がますます進み、孤立した高齢者が増加の一途です。 他の場所では買い物難民が増え、高齢になっても生きていくために免許返納もできません。 「天王寺・あべの」地域は高齢者でも住み良い街です。 高齢者へのサービスをもっと充実して、「天王寺・あべの」地域が高齢者の住み良い街とするよう位置付けていただきたいと思います。</p>	<p>「なんば・天王寺・あべのエリア」については、これまでも「グランドデザイン・大阪（2012年策定）」の象徴的なエリアの一つとして拠点エリア形成の取組みを進めてきています。 本グランドデザインでは、主要鉄道のハブ機能や、食文化やエンターテインメントをはじめ歴史・文化・芸能など様々な観光資源を活かしながら、来街者が居心地よく過ごし地域間を快適に回遊できるまちづくりを進めるとともに、多様な人々が交流し・働き・住むことができるまちづくりを推進することとしております。</p>

No	ご意見等の趣旨・内容	大阪府・大阪市・堺市の考え方
18	<p>・夢洲・咲洲・舞洲のなかで咲洲は唯一人が住む洲なので、住む場所としての魅力形成をどう考えているかの発信をしてほしい。（例えばイオンモール等の中規模程度のショッピングモールの誘致、クリニックの充実等）</p> <p>・夢洲でのIR誘致に伴い、MICEを夢洲でとなると咲洲のインテックス（夢洲に集約するであればインテックスの跡地）はどうなるのか。</p> <p>・舞洲の魅力は各スポーツ施設が揃っていることで、スポーツの洲というイメージだが、記述が見当たらなかった。是非発信してほしい。</p> <p>咲洲を拠点とする大学として、夢洲は万博・IR、咲洲は研究開発拠点・スマートシティ、舞洲はスポーツというイメージを確立して行ってほしい。</p>	<p>「夢洲・咲洲エリア」においては、大阪の成長・発展をけん引する拠点エリアを形成するという戦略の観点から、舞洲、天保山・築港、此花西部、鶴浜などとの連携強化により臨海部全体の魅力向上を図るとともに、国際観光・国際物流・国際交流及び研究開発拠点エリアの形成をめざすこととしています。</p> <p>なお、いただいたご意見も踏まえ、「研究開発施設が集積する咲洲」、「スポーツ・レクリエーション施設を有する舞洲」等、一部追記しました。</p> <p>また、国際見本市会場（インテックス大阪）については、築30年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいることから、大阪府で令和4年度に施設の長寿命化等に向けた改修基本計画を作成するほか、今後必要な改修工事を順次実施していく予定です。</p>
19	<p>咲洲コスモスクエアエリアは住民が多く住み、ファミリー層も多いが買いものできるところがほとんどなく、イオンやライフなど中型規模のスーパーがほしいです。新しいマンションも建ったものの、依然としてスーパーは1軒だけです。</p>	
20	<p>大阪南港ATCで各種テクノロジーの実証実験をよく見かけます。ベイエリア、夢洲・咲洲エリアは中心部に比べて建物も人も比較的密集しておらず、それでいて商業施設、工業施設、企業ビル、住宅、スポーツ施設、レジャー施設、宿泊施設などバラエティ豊かで、また川や海もあり、かつ中心部からのアクセスも悪くないという、テクノロジーの実証実験の場として非常に魅力的な環境だと感じます。欲を言えばエリア内にテクノロジー系の教育研究機関が欲しいところですが、万博をひとつのきっかけにこのエリアが様々な先端テクノロジーにとって、広い意味でインキュベーションとして機能するエリアに成長していくことに期待します。</p>	<p>「夢洲・咲洲エリア」においては、大阪の成長・発展をけん引する拠点エリアの形成に向け、産学官連携によるイノベーション拠点の形成や、最先端技術の実証（実験）、スーパーシティ制度の活用による先端サービスの実装などの取組を進めております。</p> <p>いただいたご意見も参考に、ランドデザインの推進にむけて取組を進めてまいります。</p>
21	<p>P33の地図で、千里丘駅西地区第一種市街地再開発事業の場所が違う。大阪高槻京都線の東側の駅前のエリアが正しい。</p>	<p>P33の地図において、「千里丘駅西地区第一種市街地再開発事業」の位置を修正しています。</p>
22	<p>大阪府下の公園や公営住宅について、大阪府営から市営化を進めて、地域密着型の発展について、盛り込んでほしい。</p>	<p>府営公園につきましては、一の市町村の区域を越える広域的な利用を目的とした公園であり、多様な機能を備えた広域公園として運営するものです。</p> <p>なお、地域密着型の公園については、市町村が主にその役割を担っています。</p> <p>また、府営住宅につきましては、地域のまちづくりや福祉施策といった住民に身近な行政サービスを担う基礎自治体が、公営住宅を運営することが望ましいと考えています。</p>
23	<p>大阪港湾の武漢とのMOUは、中国の一帶一路推進としか思えません。締結解消して下さい。</p> <p>大阪の経済界を見ても、中国が独裁国家である事を分かってあえて取引しているようにしか見えません。</p> <p>中国中心の大阪で暮らしたいとは思いません。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、ランドデザインとの直接的な関連性がないため回答を差し控えさせていただきます。</p>

No	ご意見等の趣旨・内容	大阪府・大阪市・堺市の考え方
24	<p>現在開発中の大阪城東部地域再開発とベイエリア開発に対しての提案です。          開発に際し、大阪城公園駅東側のJR車庫が支障しています。          そこでメトロ長堀鶴見緑地線鶴町延伸の車庫予定地として置かれている空き地をJR車庫用地へ転用し、大正～弁天町間の貨物線跡から鶴町までJR支線を建設して引き込むのはどうでしょうか？          長堀鶴見緑地線は仮に鶴町へ延伸しても既存の鶴見車庫で対処可能なため新たに車庫を作る必要性が薄く、JRは森ノ宮車庫を移転する用地を必要としています。          また車庫までの引き込み線を旅客営業することで、大正～鶴町の近畿地方交通審議会答申8号を間接的に満たし、ベイエリア活性化に繋がると考えます。          引き込み線事体は国道43号との交差部分の手前までで地下化可能であり、また車庫まで貨物線跡と海底を通すことで用地確保の面でも有効と思います。</p>	<p>鶴町の車庫用地だった土地については、平成31年に港湾計画の改訂により、土地利用の転換を図り、にぎわいの創出や地域の活性化に寄与する商業・業務機能や交流機能等の導入を図るエリアとなっております。</p>
25	<p>自転車を活用した街づくりの自転車道の整備について歩道一体型ではなく車道一体型の自転車道の整備をお願いしたくて意見を申します。          政府は自転車走行は「原則車道で歩道は例外」として規定したり自転車の利用促進を図り広すぎる歩道を削り自転車専用道を整備する計画も示されていますが、実態は改修新設された道路でも広い歩道に色分けされた自転車レーンを設置する状況が大半を占めており自転車は原則車道走行という方針を示しても、政府が自転車を歩道走行するように誘導している状況です。          近年普及してきた電動アシストやスポーツ自転車など従来の自転車より快適に移動できる自転車が徐々に普及してきているなか、都市部の半径5キロ以内の移動だと自転車はエネルギーと時間効率において最も優れているという調査結果もありますが、日本の自転車は長年にわたり歩道走行している状況のため徐行運転もしくは危険走行となり自転車の違法行為を助長しポテンシャルが制限される状況にあります。          現状の道路環境だと歩道一体型の自転車道は低速走行でもふらついて歩行者との接触、段差によるパンク(リムうちパンク)の危険があり、車道一体型の自転車道は少なく路側帯は狭いため車道走行すると自動車との接触事故の可能性もあり自転車の走行環境は中途半端な状況です。          長年自転車は歩道走行してきたため道路整備する担当者は自転車は歩道を走ればいいと考えているかもしれませんが、今後は自転車道の新設や改修工事の際は、自転車が歩道を走ることを前提としたような広すぎる歩道は削り、段差のない車道一体型の自転車道を設置して歩行者、自転車、車を分離して安全に活用できる道路をお願いします。</p>	<p>戦略「人・モノ・情報の交流を促進」において、「自転車を活用したまちづくり」を位置づけ、環境負荷の低減、健康増進、災害時における交通機能の維持等の観点から身近なモビリティである自転車を活用したまちづくりを推進することとしています。          また、自転車・歩行者の安全確保等のため、道路構造令や、国・各自治体の自転車通行空間整備等に係る計画などを踏まえ、各道路管理者により自転車走行環境の整備に取り組んでいくこととしています。</p>

No	ご意見等の趣旨・内容	大阪府・大阪市・堺市の考え方
26	<p>P.59 (2)自転車を活用したまちづくり 自転車走行環境の整備</p> <p>P.8の「Q.都心や中心市街地など、人が集まるまちなかにおいて、どのような取組を充実すべきと思うか。」の回答に令和2年、令和3年ともに「自転車や徒歩で回遊できる空間の充実」が2番目に多いにもかかわらず、自転車に対する「ランドデザイン」は「(2)自転車を活用したまちづくり」の1ページしかありません。</p> <p>環境問題、エネルギー、健康などに自転車活用のメリットがあり、ヨーロッパでは（特にコロナ以降は）自転車を中心とした都市作りが行われていることは周知のことだと思います。</p> <p>大阪は世界的にも自転車の移動分担率が高い地域です。</p> <p>地方では自動車が無いと生活できない地域もありますが、大阪は（特に中心部は）公共交通が発達し、高低差が無く、自転車に適しています。</p> <p>しかし残念ながら、自転車に関わる交通事故（被害者、加害者の双方）が多く発生しています。これを改善するには、自転車通行空間の整備が欠かせません。</p> <p>大阪は日本の他の地域と比較しても自転車通行空間の整備が非常に遅れています。</p> <p>例えば、道路交通法でいう普通自転車専用通行帯が1箇所もありません。</p> <p>車道に法定外表示の矢羽マークが書かれた道路は増えてきましたが、これは自転車の安全を保障するものではありません。</p> <p>そのため歩道を走行する危険な自転車が多く、社会問題にもなっています。</p> <p>歩行者・自転車・車を安全に分離した道路を早急に整備する必要があります。</p> <p>この点を「ランドデザイン」に含めるよう検討をお願いいたします。</p>	<p>戦略「人・モノ・情報の交流を促進」において、「自転車を活用したまちづくり」を位置づけ、環境負荷の低減、健康増進、災害時における交通機能の維持等の観点から身近なモビリティである自転車を活用したまちづくりを推進することとしています。</p> <p>また、自転車・歩行者の安全確保等のため、道路構造令や、国・各自治体の自転車通行空間整備等に係る計画などを踏まえ、各道路管理者により自転車走行環境の整備に取り組んでいくこととしています。</p>
27	<p>安心・安全なまちづくりのためにも、大阪府警と国と連携しながら、反社会組織である暴力団の排除をより鮮明にランドデザインに盛り込んでほしい。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、ランドデザインとの直接的な関連性がないため回答を差し控えさせていただきます。</p>

No	ご意見等の趣旨・内容	大阪府・大阪市・堺市の考え方
<b>ランドデザインの推進に向けて</b>		
28	大阪が持続的な発展を遂げていくためには、国内外から選ばれる国際競争力の強化が不可欠であり、まちづくりに加え、まち育ての視点が重要である。そのため、まちづくり団体やエリアマネジメント団体など、民間の意見が取り入れられる体制を整備することが不可欠。官民の総合力を生かした官民共創スタイルを構築するための検討の場を設置されたい。	多様な主体がランドデザインを共有し、取組を推進することが重要であると認識しています。ランドデザインの推進にあたっては、まちづくり団体や民間団体、企業・事業者などと連携しながら、取り組んでいくこととしています。
29	2050年に向けた計画であり、未来の大阪を支えるZ世代やミレニウム世代といった若者層の意見を盛り込むプロセスが必要。 また、団塊ジュニアが高齢者となる2040年問題、2050年カーボンニュートラル実現など、長期の政策課題を念頭に置き、大胆な税制優遇や規制緩和で民間投資を誘発されたい。	ランドデザインは、2050年に向けた人口動向や社会情勢の変化等を踏まえ、策定しており、多様な主体と連携しながら、まちづくりを推進していきます。 P68の「ランドデザインの推進に向けた取組」として、民間主導のまちづくりを推進するための環境整備として、法制度・手法等の改善に向けた国への働きかけ等を示しています。 いただいたご意見も参考に、ランドデザインの推進に向け、まちづくりの取組を進めてまいります。
30	68ページに記載されている推進に向けた取り組みの内容がハード面に軸足が偏っているのではないのでしょうか？特に冒頭のデータにある通り、日本の人口は減少していきますが、世界の人口はまだ当面伸び続けます。世界をリードする大阪を実現する為には、世界から来訪する人々にとっても住みやすい都市であることが必要だと思います。大阪の国際化を見据えた、教育、居住、文化の取り組みがランドデザイン推進には必要だと思います。その意味で、67ページの推進体制の中に、国、近隣府県に加えて、「各国の領事館等」も加えていくことが必要ではないでしょうか？	ランドデザインの推進にあたっては、多様な主体と情報共有・連携しながら取組を進めていく必要があると考えています。P67の推進体制では、国のまちづくりに関連する法制度・施策・事業との連携・調整、近隣府県とは、まちづくりにおける広域的な連携・調整を必要に応じて図るものとして示しております。 いただいたご意見も参考に、ランドデザインの推進に向け、まちづくりの取組を進めてまいります。
31	路面電車の復活を強く望みます。 高齢者には地下鉄などの階段の上り下りがきついが、その必要がない。 自動車運転免許を返上した後の移動手段として適当。 駅区間が小さいのでこまめな移動に適している。 街並みをゆっくり見ながら移動できる。 ちょっと立ち寄りたい店などが目に付いたらそこで降りることができる。 駐車場を必要としない。 子供も利用しやすい。 高齢者や子供が疎外されない街づくりには必要不可欠と考える。	本ランドデザインでは、多様な暮らし方・働き方を支える「人中心のまちづくり」を実現するために、誰もがいつでも安心して快適に移動できるよう、様々な交通インフラやそれらをつなぐまち全体でユニバーサルデザイン化などの推進を示しています。 また、次世代型路面電車であるLRTのほか、近年の新たなテクノロジーによるモビリティが開発されている中、新たなモビリティなども活用したまちづくりを推進することとしています。

No	ご意見等の趣旨・内容	大阪府・大阪市・堺市の考え方
32	<p>「民間活力を活かしたまちづくり」の推進は、極めて重要な視点だが、グローバルな都市間競争が激化する中で大阪が選ばれるためには、民間の参画を促す魅力的なインセンティブが必要。「人中心のまちづくり」を実現するためにも、民間投資を誘発する大胆な税制優遇やパブリックスペースの活用における思い切った規制緩和、エリアマネジメントを推進するための助成措置などを講じられたい。</p>	<p>ランドデザインの推進にあたっては、民間等がまちづくりに参画しやすい環境を整えるための取組等を進めていく必要があると考えており、P68の【推進に向けた取組】として、法制度・手法等の改善に向けた国への働きかけや国家戦略特区制度の活用などを示しております。</p> <p>いただいたご意見も参考に、ランドデザインの推進に向け、まちづくりの取組を進めてまいります。</p>
33	<p>まちづくりの基本目標に「未来社会を支え、新たな価値を創造し続ける、人中心のまちづくり」を設定し、「イノベティブな大阪」「ウェルビーイングな大阪」「サステナブルな大阪」の3つ将来像を掲げ、その実現に向け、「多様性の確保」「共創」「資源の活用」の視点を重視したまちづくりの推進を示したことに賛同する。</p> <p>まちづくりの基本目標を達成するためには、テクノロジーを活用してデータを収集・分析し、それをまちづくりに生かす視点が重要。その点、スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定を受けた大阪ならではの先端サービスの提供や複数分野間でのデータ連携を可能とする大胆な規制緩和を強力に推進してもらいたい。</p>	
<b>取組ロードマップ</b>		
34	<p>民間がまちづくりに参画しやすくなるように、2050年に向けて、短期（2025年春）、中期（2030年頃）、長期（2040～2050年頃）でどこまで何をめざすのか、ステップアップイメージや目標を提示されたい。</p>	<p>「取組ロードマップ」において、大阪の成長・発展に向けたイメージを示すとともに、それぞれの取組の想定スケジュールを示しております。</p>
35	<p>短期は2025年大阪・関西万博の開催期に当たり、世界に向けて大阪の存在感を強くアピールできる好機である。特に、万博来訪者が集中する「成長・発展をけん引する拠点エリア」においては、その時期に実現をめざすまちのイメージを明示されたい。</p>	<p>大阪・関西万博が開催される2025年春を短期目標とした主な取組については、「取組ロードマップ」に示しております。</p>

No	ご意見等の趣旨・内容	大阪府・大阪市・堺市の考え方
<b>まちづくりマップ</b>		
36	<p>大阪のまちの魅力を国内外に発信し、府民も含めた多様な主体に参画を促す観点から、2050年に向けためざすべき目標実現へのストーリーをわかりやすく提示することはもとより、将来像についてもイメージパース図などを活用してビジュアルにも訴えかけるなど、見せ方を工夫されたい。</p>	<p>戦略1～5において、イメージパース図や写真等を用いて示すとともに、「めざすべき将来像」において、将来のまちのイメージを示しております。</p> <p>今後、シンポジウムやプロモーション活動など情報発信の際には、いただいたご意見も参考に取り組を進めてまいります。</p>
<b>その他</b>		
37	<p>「大阪の新しいまちづくりのランドデザイン（案）」は、大阪・関西万博やスーパー・メガリージョン形成等のインパクトを活かし、大阪がさらに成長・発展していくため、従来の「ランドデザイン・大阪」と「ランドデザイン・大阪都市圏」の策定後に生じた社会情勢の変化や新たな潮流等を踏まえるとともに、現在の2つ計画の考え方を整理・統合し、2050年に向けた大阪全体のまちづくりの方向性を示そうとする意欲的な取り組みであり、大阪・関西万博の開催を控えたこの時期に取りまとめられたことは時宜を得ている。</p> <p>大阪が持続的に発展していくためには、国際競争力のある圏域として、国内外から選ばれることが不可欠。そのためには、まちづくり（都市計画）に加え、まち育て（都市経営）の視点が重要であり、官と民の総合力を生かした大阪ならではの官民共創スタイルを構築するための取り組みを積極的に推進されたい。</p>	<p>多様な主体がランドデザインを共有し、取組を推進することが重要であると認識しています。P68の【推進に向けた取組】にあるとおり、まちづくりを育てる取組について、公民連携により推進することとしています。</p>
38	<p>大阪商工会議所は、大阪府内における人口、産業の地域間格差の是正が不可欠との観点で、大阪府南部（先週・南河内）の商工会議所・商工会、企業、大学、関係団体と「グレーターミナミ連携会議」を設置し、大阪府南部の活性化に取り組んでいる。2022年8月にこのエリアの機能強化に関する提言を取りまとめ、大阪府南部地域の豊かな自然を活かしたサステナブル・ガーデンシティ、カーボンニュートラルに向けたモデルエリアの形成、関空を中心とした「外国人受入拠点」化などを提案した。ランドデザインとめざす方向は同じであり、民が進める「グレーターミナミ構想」の考え方、具体の取り組みを盛り込まれたい。</p>	<p>ベイエリアなどにおける産業競争力の強化や自然にも都心にも近いという大阪ならではの魅力を活かした新しい郊外の創造、交通ネットワークの充実、沿線まちづくりなどの取組の方向性を示しており、「グレーターミナミ構想」とも考え方の方向性は概ね一致しているものと考えます。</p> <p>なお、南河内地域の活性化に向けて、戦略間の相互連携を推進するという観点から、P.35の拠点エリアを変更しました。</p>

No	ご意見等の趣旨・内容	大阪府・大阪市・堺市の考え方
39	<p>グランドデザイン案について、下記のようにまちづくり案の視点・方法を中心に、質問・意見を述べますので、ご検討ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2012年と2016年のグランドデザインとの違い、2050年を目標とすることを明確にしめすべきである。</li> <li>・全体として、大阪都市圏レベルの広域的な視点が強調され、大阪府や大阪市、周辺町村、地域の実態が十分に分析されていない。上から目線のまちづくりグランドデザイン案となっている。</li> <li>・相変わらず「副首都」や「成長志向」が目立ち、気候変動や感染症、人口減少時代の地域社会を取り巻く厳しい現実、災害などのリスクについての視点が弱い。</li> <li>・「軸」や「拠点エリア」をベースにしたグランドデザインであり、大阪の自治体やコミュニティなどからの視点、分析に欠ける。とりわけ政令指定都市である、大阪市の位置づけが弱い。中心市と周辺衛星都市などの関係、政令指定都市の役割をより明確にすべきである。</li> <li>・まちづくりの取組については、足もとの地域・コミュニティの役割をもっと重視すべきである。また、まちづくりの調査研究、情報収集・共有のセンターを設立してもらいたい。</li> </ul>	<p>グランドデザインは、ポストコロナを見据え、万博やスーパー・メガリージョン形成等のインパクトを活かし、東西二極の一極を担う「副首都」として、大阪がさらに成長・発展していくため、「グランドデザイン・大阪」（2012年策定）と「グランドデザイン・大阪都市圏」（2016年策定）の策定後に生じた社会情勢の変化や新たな潮流等を踏まえるとともに、2つの計画の考え方を整理・統合し、2050年に向けた大阪全体のまちづくりの方向性を示すものです。</p> <p>策定にあたっては、グランドデザイン推進本部会議や有識者懇話会等での議論だけではなく、市町村との意見交換などを行いながら、進めております。</p> <p>また、人口減少社会に対応し、コロナ禍を契機に多様化したライフスタイルなどを踏まえ、駅周辺での拠点形成や地域資源を活かしたまちづくりなどの取組を進めるとともに、防災インフラの充実など、ハード・ソフト両面で高い災害対応力を備えるための取組や気候変動そのものの緩和策としてのカーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けた取組などを示しています。</p> <p>政令指定都市である大阪市・堺市においては、戦略1で示すとおり、世界で存在感を発揮する拠点エリアの形成を図るとともに、その拠点開発効果を府域へ波及させていくことが求められていると考えます。</p> <p>グランドデザインの推進にあたっては、まちづくり団体や民間団体、企業・事業者などと連携しながら、取組んでいくこととしています。</p>
40	<p>意見の入力画面について</p> <p>意見の箇所を説明するため「大阪まちづくりグランドデザイン（案）」PDFからコピーして「意見欄」に入力しましたが、「環境依存文字を含む入力はできません。」とエラーが表示されました。エラー箇所を探し修正して送信しました。</p> <p>環境依存文字を使用しないことは大切なことであり、このエラーを表示することは妥当です。それならば、元の文書(PDF)でも環境依存文字を使用していないかチェックする必要があったのではないのでしょうか。</p> <p>エラーの文字の箇所までは示していませんでした。</p> <p>エラーがあつて、意見を送信できなかった方もおられたのでは無いのでしょうか。</p> <p>なお、私が遭遇した環境依存文字は「丸の中に数字」です。</p> <p>PDFに大量に使用されていました。</p> <p>今後から府民への文章に環境依存文字が混入しないように注意をお願いいたします。</p>	<p>いただいた内容につきましては、ご意見として承ります。なお、読み上げ用資料においては、環境依存文字を使用せず記述しております。</p>

No	ご意見等の趣旨・内容	大阪府・大阪市・堺市の考え方
概要版		
41	大阪府下の旧遊郭一掃をグランドデザインに記載してほしい。令和時代に相応しい子どもたちにも胸を張れる大阪であってほしい。	いただいたご意見につきましては、グランドデザインとの直接的な関連性がないため回答を差し控えさせていただきます。
42	大阪のまちづくりの南北一体化のためにも、北大阪急行と大阪メトロの合併と南海電鉄と泉北高速鉄道の合併により、交通運賃を下げ、利便性の向上が必要である。知事がリーダーシップをとって、官民一体の改革を行って欲しい。	
43	<p>「ポストコロナを見据え」とあるが、「withコロナ」を基調に考えた方が良いのではないかと。第8波が来ているので、今後も大きな波が必至な可能性を考えた上で立案を進めた方が良いのでは。このまま終焉に向かうかどうかは判らないし、とてもとてもそのようには楽観視できないように思う。希望的見込みではなく、この3年間の大きくなってきている波を、過密化社会への警告と捉える方が良いように思う。変異株が出現しているので、ワクチンだけではとても抑えきれないのではないかと。</p> <p>また、「withコロナ」のための基本は「分散化」が重要なポイントではないかと思う。首都圏機能の全国への分散化、都市（大阪を含め）の分散化、仕事や人や生活の分散化、密を避け集中を避け、効率はほどほどにリスクを分散化し、強靱なネットワークの全国構想が必要ではないか。本来それは国として進めるべきではあるが、大阪府においても、可能な範囲でトライしていく構想が必要なように思う。</p>	<p>本グランドデザインは、2050年を目標とした、大阪のめざすべき都市像やまちづくりの方向性、その推進の取組等を示す長期的なビジョンであるため、「ポストコロナを見据え」という表現を用いています。</p> <p>また、まちづくりの方向性として、広域レベルでは、スーパー・メガリージョン形成等のインパクトを活かし、東西二極の一極を担う「副首都」として、さらに成長・発展していくことをめざします。府域レベルでは、新型コロナウイルス禍を契機としたライフスタイルの多様化をふまえ、多様な都市機能を備えた特色ある拠点エリアや魅力ある生活圏を形成し、相互に連携する都市構造をめざすこととしています。</p>
44	ネット社会、A I 社会、テクノロジー、流通など、「分散化」の促進を可能にしつつある。在宅勤務・テレワーク、ネット授業やネット会議は対面でなくとも可能性を広げつつある（失われるものがあるとしても）。	

No	ご意見等の趣旨・内容	大阪府・大阪市・堺市の考え方
45	南海トラフなどでの大地震、温暖化による台風大型化、豪雨などによる河川洪水水害など、災害の激甚化も憂慮される。そのための耐震化、堤防嵩上げもさることながら、生活圏の過密化や集中を避けた分散化により、甚大被害を少なくする施策も欠かせない。	戦略「安全・安心でグリーンな社会を実現」の「安全・安心なまちづくり」において、災害ハザードエリアでの開発の抑制や災害リスクを踏まえた居住誘導など、都市計画手法を活用しつつ、防災・減災の視点に立った土地利用誘導を図ることとしています。
46	農産水産畜産物などの自給自足化の推進も、分散化に並行して必要だと思う。サプライチェーンを中国など海外に依存した問題点がコロナ禍で露わとなったが、日本国内での自足化とともに、大阪府内と近接府県を含めた協同協力化の展望も不可欠だと思う。	いただいたご意見につきましては、グランドデザインとの直接的な関連性がないため回答を差し控えさせていただきます。
47	グランドデザインは、大阪府内だけでなく、近接府県を互いに重層化させ、かつ国とも協議連携提案し、横睨みで進めていっていただきたい。	「グランドデザインの推進に向けて」に示すグランドデザイン推進体制のとおり、近隣府県や国とも連携調整しながら推進を図ることとしています。